



率先避難者たれ！！

津波による避難～屋上へ～

「率先避難者たれ」この言葉は内閣府防災情報のホームページで検索すると載っています。東日本大震災のあと、平成23年に「津波対策の推進に関する法律」が制定されました。津波から身を守る三原則として「想定にとらわれるな」「最善をつくせ」そして、最後にこの「率先避難者たれ」の言葉があります。3.11では、岩手県釜石市の中学生がまさに「率先避難者」であり、当時多くの住民がこれにより、難を逃れました。

本校では5月13日に津波警報が発令されたことを想定した避難訓練を実施しました。最初は全員が校舎の3階に避難しました。コロナ禍の訓練はここまで終わっていました。今回はそのあと屋上（東側）に避難です。この訓練で想定していたことがいくつかあります。まず、屋上への出入口ドアは狭いので一人ずつ通らなければなりません。また、重い鉄の扉を左右全開するため、それをずっと押さえておく必要がありました。さらに、屋上と校舎の境目はかなりの段差があるのです。特に下学年児童は職員が手を貸さないと歩みにくいです。とにかく「けがのないように安全に避難する」ことを最優先に訓練を行いました。

この度の「屋上への避難訓練」や15日に行われた「交通安全教室」の様子を自治会の方が見に来てくださいました。特に安全や防災について共有できることは有意義なことです。これからも地域と共にある学校として様々なことを共有していきたいと思います。



【屋上へ避難】

【2階から3階へ避難】



全員、屋上に避難完了

～自分で考え表現する「教育漫才」～

5月16日に職員研修として元埼玉県公立小学校長の田畑栄一先生をお招きしました。本校が掲げる学校像「あたたかな笑顔あふれる新玉小」を具現化させる手立ての一つとして取り組んでいる「教育漫才」を全職員で学ぶためです。



職員研修の様子

写真中央が田畑先生

昨年度もお伝えしましたが、田畑先生はいじめや不登校を未然防止する学校づくりをめざし、「教育漫才」を提唱・実践した方です。この日は先生方も2～3人のグループとなり、「ネタ」を作って発表しあいました。「教育漫才」は、ただ単に人を笑わせるのが目的ではありません。いじめや暴力（言葉の暴力も含みます）をなくし、温かな人間関係を育むことがねらいです。

6月21日（土）の学校公開日にはブロック別で保護者の皆様に「教育漫才」を披露します。詳細は5月16日に配信した「土曜授業参観のお知らせ」をお読みください。5月下旬の朝会で担当職員が全校児童に「教育漫才」のねらいなどについて話します。今年はどういう「ペア」や「トリオ」が温かい笑いを提供してくれるのでしょうか。また、児童自らいろいろな役割を考え、取り組むことも楽しみです。めざそうあらたまの子にある「自分で考え表現する子」や「前向きにチャレンジする子」の力が発揮できることでしょう。

令和7年度修学旅行・校外学習がスタート

今年度も本校では校外学習やゲストティーチャーによる学習を充実させていきたいと考え、取り組みを進めています。実際に本物に触れて体験する活動を重視した学習を行います。



これは小田原市がめざす「社会力の育成」の中で「ひと・もの・こと」との関わりを豊かにする機会を創出することもねらいとしています。

- 森林教室…5月26日（いこいの森・農政課） 5年
- 校外学習…5月23日（わんぱくらんど）2年・1年
- ※わんぱくらんど雨天時は、5月30日に延期
- 修学旅行…5月21日～22日（栃木県日光方面）6年